

平成28年度  
自己点検評価 報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1 学校の教育目標

本校は「何処の場にあっても なくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の育成を目標とする。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成28年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

### (1) 自動車学科

- ・ 二級自動車整備士5年連続100%を目指し、早期の意識付けを徹底します。
- ・ 就職率を昨年に続き100%達成するために、1年次夏季休業中より会社説明会の参加を指導します。
- ・ 企業から求められる人材教育を、外部講師を招いて授業に取り入れます。

### (2) エアポートサービス学科

- ・ 航空業界において必要な資格取得や即戦力として活躍できる知識と技術を身につけ就職試験対策としての基礎学力の向上を図る。

## 3 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1
社会経済のニュース等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

### ① 課題

自動車整備士養成校として、整備の基礎は勿論のこと電気・電子といった高度な技術に対応する技術者を育成することが必要とされる。また、航空産業界では、オリンピック開催を控えLCCの増便などの環境により、訪日外国人観光客はさらに増加しており、空港で活躍する空港地上支援業務員の必要性が高まっている。本校としては、真に即戦力となりうる質の高いグランドハンドリングスタッフの育成が課

題となる。

② 今後の改善方策

日々進歩する自動車業界に対応するため、職業実践専門課程の特色を活かし最新の実務に関する知識・技術・技能等を習得させるよう関係業界団体との連携を更に深める必要がある。エアポートサービス学科においては、座学と就職後の修業に直結する実習の質の確保に努めつつ、国際化にも対応した人材づくりを図ることが必要となる。併せて、社会人として求められるコミュニケーション能力向上に向けての取り組みは継続して実施する。

学校理念等の周知については、ホームページ・文書等を利用し、これまで以上にあらゆる機会を使って周知を図ることに努めていく。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事等に関する規定等は整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
システム化等により 業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

意思決定機能の各委員会については、方針決定事項等についての全体説明が不足しているところがある。

② 今後の改善方策

職員会議において、各部門・テーマごとに検討会議を開催し充実を図る。

教育活動等の情報公開は、ホームページの管理システムの充実により、発信の強

化に努める。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	③	2	1

職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
------------------------	---	---	---	---

① 課題

専門分野における資質の向上並びに全職員に対する能力開発等の研修が必要である。

② 今後の改善方策

両学科とも関係団体・企業等が開催する各種研修・勉強会に引き続き積極的に参加させる。また、全職員に対しては、様々な学生に対する指導の在り方など指導力の向上に直結する内容等を選定し研修会を実施する。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

資格取得（受験者数・合格率）に対する対策が必要である。

卒業生の活躍・評価の把握は、十分とは言えない。

② 今後の改善方策

退学者（経済的理由など）が発生したが、クラス担任をはじめ教職員一同、これまで同様の個人面談、家庭訪問などを重視し、早期に問題と向き合い家族との連携強化を図る以外の方策はないと信じ継続し取り組んで行く。

資格取得については、採用試験時のアピールは勿論のこと、その必要性について理解させ、学生自らが積極的に受験する態勢を構築する必要がある。この際、集中講義などを開催し、意欲的な取得と合格率のアップを図りたい。

卒業後の把握については、企業訪問時を活用し把握に努めることが可能と思われる。

るので、取組みの第一歩にしたい。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④ 3 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

女子学生など含め相談体制の確立が求められる。

② 今後の改善方策

学生相談は、担当の女子職員 2 名を配置しているが、クラス担任との連携を深めるなど体制づくりを確立させる。

キャリア教育等に関しては、体験授業及び出前授業の受入れも公表しており、一部の学校とは連携しているものの更に拡充を図りたい。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう 整備されているか	④ 3 2 1

学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

エアポートサービス学科の海外研修については、昨今の国際情勢を鑑みて見直しが必要ではないか。

② 今後の改善方策

日本最大の利用者数を誇る東京・成田国際空港の空港見学会等に変更を検討する。

(7) 学生募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

昨年以上の学校訪問を実施したが両学科ともに昨年を下回った。オープンキャンパス参加者が出願に繋がっていない現状を改善していくことが必要となる。過年度生の獲得も同様である。2018年問題もあり、前に進む募集活動を展開していくことが課題となる。あわせて、ホームページの改修にも取り組まなければならない。広報としては、マスメディアに取り上げられた回数も増してPRは効果的であったと思われ、引き続き報道各社との連携に努めたい。

② 今後の改善方策

資料請求者、各ガイダンス等での対象者へのアプローチの在り方などを検討し、特色のあるオープンキャンパスに繋がる対策を具体化する。本校の特色・魅力をHP上でアピールできる強力なホームページを作成する必要がある。限られた予算の中で、より効果的な募集広報を全職員一丸となり、新卒・過年の学生獲得に向けて積極的な募集広報活動に取り組む。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

入学者が財務に直結することから、全職員の課題として学生募集に取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

入学者の確保が財務の基盤であることを強く認識し、定員確保に向けた活動が財務基盤を安定させる。また、経費削減の取組みは継続して実施する。

財務については学校法人において監査並びに財務公開まで適切に行われている。

(9) 法令等の順守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

法令や設置基準は遵守されており、適正に運営されている。また自己評価に関しては、公開まで適切に行われており特に問題はない。

② 今後の改善方策

自己点検評価については、問題点の改善に取り組むことに重点を置くことが、重



要となる。